

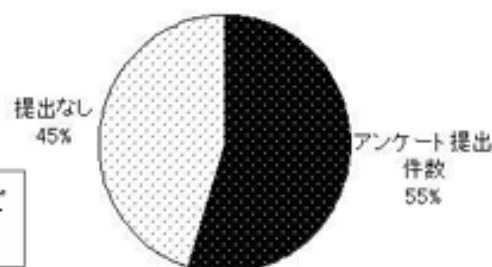
付録(3) 豪雨時の避難行動に対するアンケート 集計結果

アンケート用紙を令和元年12月15日に全世帯へ配付し、12月25日に回収致しました。その取り纏め結果について、下記に示します。

問1. アンケート回収率

全体		回答数	%
全体		709	100
1	アンケート提出	387	55
2	提出なし	322	45

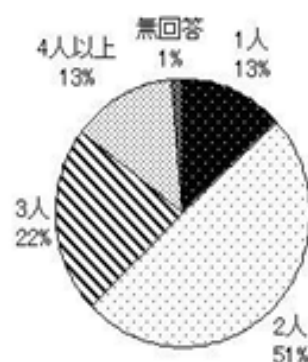
令和元年12月において、全世帯数は709世帯です。アンケート提出にご協力いただきました世帯は、全体の55%を締め過半数を超えました。



問2. 家族構成を教えてください。

全体		回答数	%
全体		387	100
1	1人	51	13
2	2人	192	51
3	3人	87	22
4	4人以上	52	13
5	無回答	5	1

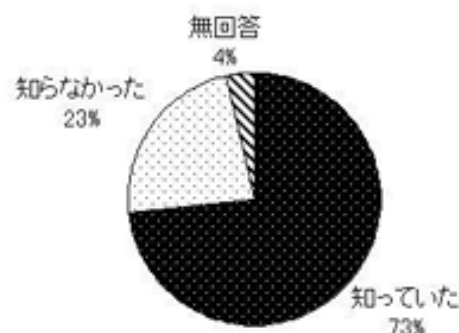
家族構成を年齢別に大きく分けると65歳以上が70%、65歳未満は23%でした。無回答は7%。



問3. 避難勧告が発令されたことを知っていましたか。

全体		回答数	%
全体		387	100
1	知っていた	284	73
2	知らなかった	89	23
3	無回答	14	4

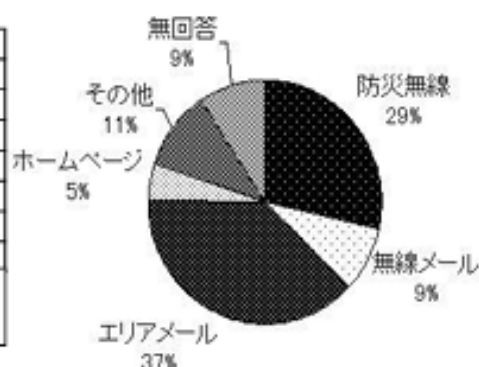
何らかの手段で発令を知っていた方がほとんどでしたが、知らなかった方も20%を超えていました。



問4. 避難勧告の発令を知っていた方への質問です。 どのような方法で避難勧告の発令を知りましたか

全体		回答数	%
全体		387	100
1	防災無線	111	29
2	市に登録している防災無線メール	33	9
3	エリアメール	147	37
4	埼玉県や幸手市のホームページ	19	5
5	その他	42	11
6	無回答	35	9

防災無線以外に、エリアメールや無線メールが有効だったことがわかります。

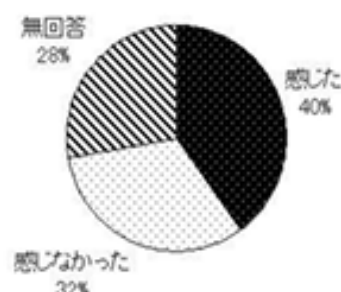


問5. 避難勧告の発令を知っていた方への質問です。

避難勧告で自分の身の危険を感じましたか。

全体		回答数	%
全体		387	100
1	感じた	155	40
2	感じなかった	125	32
3	無回答	107	28

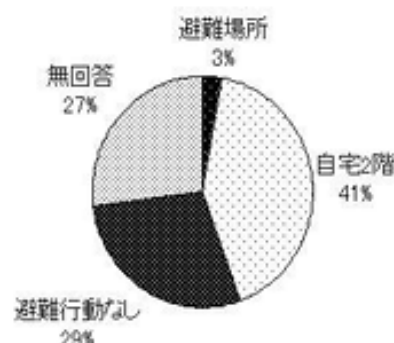
危険を感じた人が40%と比較的多く、災害の危険性が高かったことが分かりますが、その反面、危険を感じなかった人も同程度の比率でした。



問6. 避難勧告の発令を知っていた方への質問です。
避難勧告の発令を知ってどのような行動をとりましたか

全体		回答数	%
1	避難場所に避難した	11	3
2	自宅の2階以上に避難、または避難する準備をした	161	41
3	避難行動はとらなかった	111	29
4	無回答	104	27

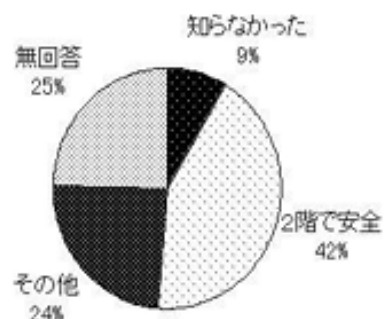
非難された方は 11 組と少なく、殆どの方は自宅の2階へ避難されたか、避難は行わず自宅で待機するなどの行動でした。



問7. 避難されなかった方への質問です。避難されなかったのはなぜですか。

全体		回答数	%
1	避難勧告の発令でどう行動すればよいか知らなかった	33	9
2	2階以上に避難(垂直避難)することで安全が確保できると判断した	166	42
3	その他	92	24
4	無回答	96	25

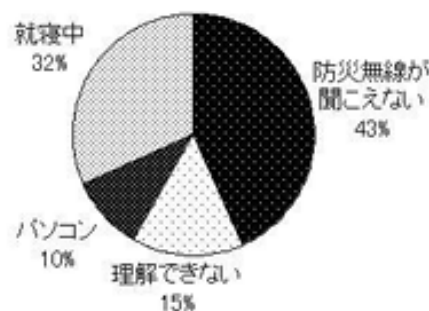
2階が安全と思われている人が多く、また、その他では状況を見ながら判断しようという方も多数おられました。



問8. 避難勧告の発令を知らなかった方への質問です。
知らなかったのはなぜですか。

全体		回答数	%
1	防災無線が聞こえなかった	52	43
2	防災無線が聞きにくく内容を理解できなかった	18	15
3	パソコン、スマートフォンを所持していない	12	10
4	就寝中のため	38	32
5	無回答	0	0

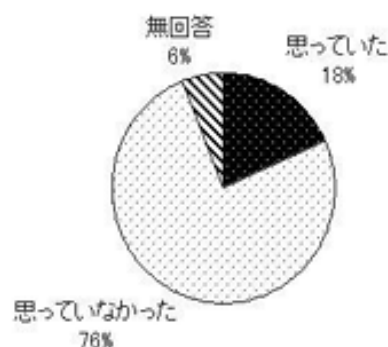
防災無線が聞こえない、就寝中であったなど、避難勧告に気づかなかった方が多くおられました。避難勧告発令をまず知る必要があります。



問9. 自治会員のみなさまへの質問です。今回の避難勧告の発令時に、自治会から連絡があると思っていましたか。

全体		回答数	%
1	思っていた	71	18
2	思っていなかった	292	76
3	無回答	24	6

自治会から連絡があると思っている方が 18%もいらっしゃいました。自治会としての連絡体制を検討中です。

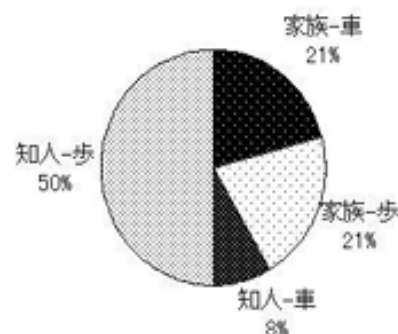


※問10～15は避難場所に避難した方に対する質問

問10. 避難はどのようにされましたか。

全体		回答数	%
1	家族で(含む一人) 車で	5	21
2	家族で(含む一人) 歩いて	5	21
3	知人の家族と一緒に 車で	2	8
4	知人の家族と一緒に 歩いて	12	50

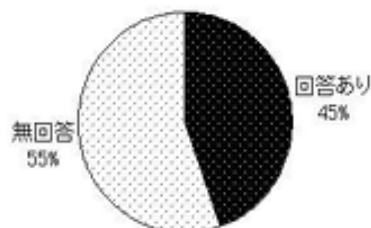
家族で避難したケースと、知人と避難したケースの率がほぼ同じで、近隣の知人の影響が大きいことが分かります。



問11. 何を持って避難しましたか。持っていなかったもの

		回答数	%
全体		29	100
1	回答あり	13	45
2	無回答	16	55

水、非常食、懐中電灯の回答が多くありました。何をどれぐらい準備するかを目安を自治会でも検討中です。

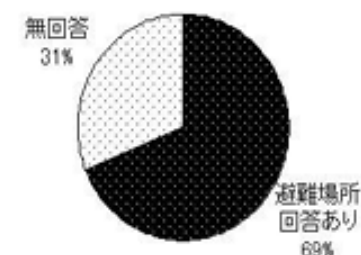


問12. 避難場所及び避難のルートを教えて下さい。

		回答数	%
全体		29	100
1	避難場所 回答あり	20	69
2	避難ルート 回答あり	19	
3	無回答	9	31

避難場所: さかえ小、さくら小、上高野小、アスカル幸手、知人の家

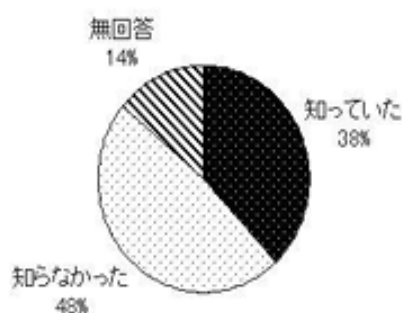
避難ルート: 天神島橋を通るルート、高速沿いの道など東側ルートが多い



問13. 問12の避難場所及び避難ルートを決めるとき、道路事情(路面冠水や通行止め)を知っていましたか。

		回答数	%
全体		29	100
1	知っていた	11	38
2	知らなかった	14	48
3	無回答	4	14

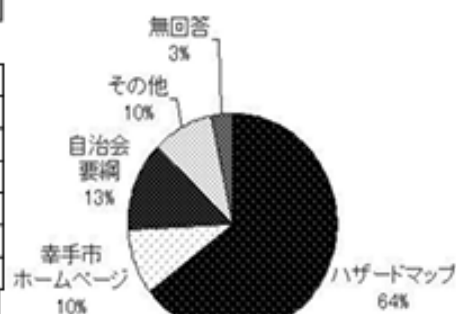
道路事情を知らずに行動した人が目立ちました。



問14. 避難場所は何で知りましたか。

		回答数	%
全体		29	100
1	幸手市の洪水ハザードマップ	20	64
2	埼玉県や幸手市のホームページ	3	10
3	自治会の「自主防災活動要綱」	4	13
4	その他	3	10
5	無回答	1	3

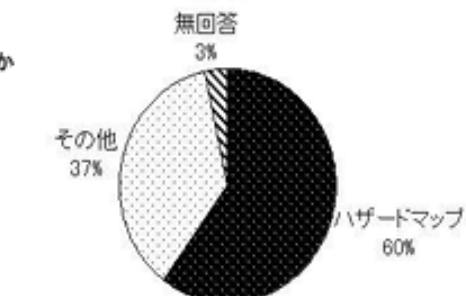
ハザードマップがよく活用されています。避難前には何かで避難場所を確認して行動していることがわかります。



問15. 避難勧告の発令で「速やかに安全な場所に避難する」ことを何で知りましたか

		回答数	%
全体		29	100
1	幸手市の洪水ハザードマップ	18	60
2	その他	11	37
3	無回答	1	3

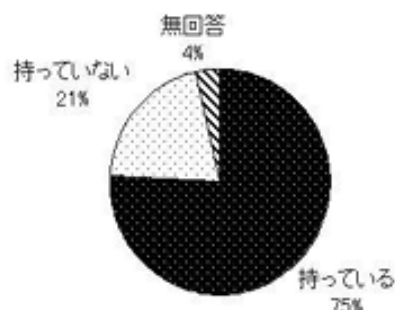
ハザードマップがほとんどですが、その他はテレビや市のホームページなどでした。



問16. 幸手市の洪水ハザードマップを持っていますか。

		回答数	%
全体		387	100
1	持っている	293	75
2	持っていない	80	21
3	無回答	14	4

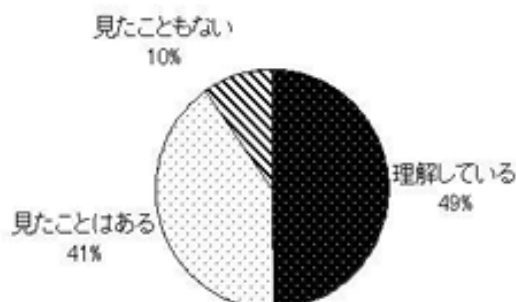
ハザードマップは良く普及しています。さらに会員への周知が必要です。



問17. 洪水ハザードマップの内容を理解していますか。

		回答数	%
全体		387	100
1	ある程度理解している	185	49
2	見たことはある	151	41
3	見たこともない	36	10

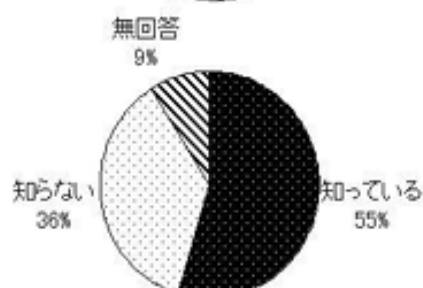
ハザードマップはほとんどの会員が見ていますが、講習などにより内容の説明も継続して行う必要があると思われます。



問18. 洪水時の自治会の近くの避難場所、避難所はどこか知っていますか。

		回答数	%
全体		387	100
1	知っている	212	55
2	知らない	141	36
3	無回答	34	9

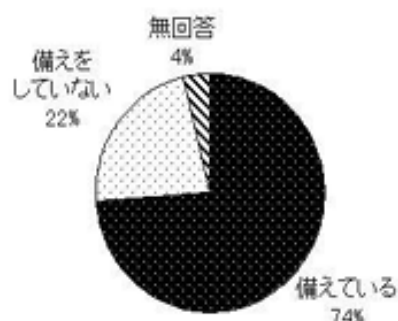
避難場所を知らない人が予想以上に多く、会員へのお知らせや説明が必要と考えています。



問19. 日頃から備蓄品の備えをしていますか。

		回答数	%
全体		387	100
1	備えている	284	74
2	何の備えもしていない	85	22
3	無回答	15	4

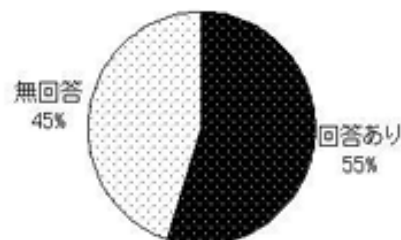
主な備蓄品: 水、非常食、懐中電灯、ラジオのほか、非常時の衣料品や簡易トイレ、ガスコンロとボンベなどの回答がありました。



問20. 避難するときに防災、減災の視点から住まいの設備にすべきことを教えてください。

		回答数	%
全体		387	100
1	回答あり	213	55
2	無回答	174	45

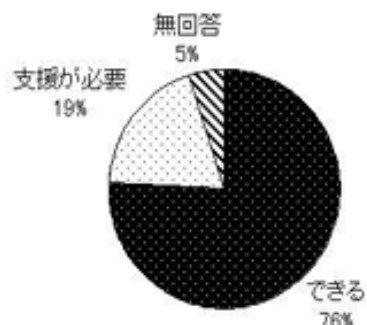
住まいの設備にすべきこと: 電気のブレーカ落す、ガス・水道の元栓を閉める、玄関の施錠、玄関に家族の行方がわかるメモを出しておくことが有効です。



問21. 今後、避難行動が必要になったとき、自主的に避難できますか。

		回答数	%
全体		387	100
1	できる	284	76
2	自主防災組織などからの支援が必要	71	19
3	無回答	19	5

ほとんどの方が自主的に避難することができるという結果ですが、約20%の方が支援を必要と回答されています。東武団地は高齢者も多く、自治会としての支援の体制を検討していく必要があると考えています。



問 22. 洪水時の避難行動について、自治会への要望事項

皆様から 170 件を超える要望、ご意見等が寄せられました。

1. 自治会から避難準備・避難勧告・避難指示等の発令情報、避難情報の連絡 (計 32 件)

- 1) 市から発令の避難準備情報、避難勧告、避難指示等は状況によっては確実に伝わらない。速やかに自治会からの発令情報の連絡が欲しい。
- 2) 避難場所、避難ルート、河川の氾濫、道路の冠水状況等の避難情報を自治会から早めに欲しい。
- 3) 高齢者、独居者も多く、自治会や近隣の方々の声掛けが避難行動につながる。
- 4) 自治会から避難指示を出してほしい。

2. 自治会からの連絡の方法 (計 25 件)

- 1) 連絡網の整備：「自治会⇒班長⇒各家庭」にリレー方式に連絡する。
- 2) 自治会、班長、災害ボランティアのメンバーによる呼びかけ。
- 3) 班、隣近所の声掛け。
- 4) 情報が欲しい時にどこに連絡すれば情報が得られるかが判っていれば、避難行動ができる。

3. 避難場所・避難ルート (計 44 件)

- 1) 安全に避難できる避難場所、避難ルートを知りたい。
- 2) 自治会として、安全に避難できる避難場所、避難ルートの周知。
- 3) 安全な避難場所の確保：広域避難、高層建物所有者との契約避難。

4. 防災・避難行動 (計 59 件)

- 1) 防災、避難行動計画の立案、訓練の実施。
- 2) 避難時の要支援者対応：避難情報の通知、救済
- 3) 各戸の安全確認の実施。「我が家は避難しました」の表示。
- 4) 小集団による避難行動。
- 5) 防災・避難行動能力の向上につながる活動、情報の周知。

※自分の置かれている状況、避難勧告の発令が深夜であり多くの個所で冠水による交通止めが発生した等により、2階への垂直避難を選んだとの意見が多く寄せられました。

5. 避難用具の整備 (計 6 件)

- 1) 非常食の備蓄
- 2) 発電機、充電装置
- 3) ゴムボート

6. 意見・その他 (計 8 件)

避難行動等については各自の判断、自力で行動、自己責任。

問 23. 洪水時の避難行動について、幸手市への要望事項

自治会の皆様から 220 件を超える要望、ご意見が寄せられました。
それらを集約し以下の様に纏めました。

1. 避難勧告発令情報の確実な周知、健全な避難ルートの確保（計 87 件）
 - 1) 安全に避難場所に避難できる避難路の確保：道路冠水の改善、倉松川の氾濫防止。
 - 2) 豪雨時の防災無線は聞き取れない。広報車、消防自動車による発令情報の確実な周知。
2. 避難勧告発令のタイミング（安全に避難できるように）（計 17 件）
 - 1) 早期の避難勧告の発令。
 - 2) 安全に避難できるよう、明るい時間帯での避難勧告の発令。
3. 防災情報の提供（計 36 件）
 - 1) 防災無線の改善：情報の内容、情報を確実に伝える。
 - 2) 幸手市ホームページの防災情報の充実、早期に発信・更新。
 - 3) 洪水ハザードマップの改定。
4. 避難場所、避難所に関して（計 47 件）
 - 1) 収容可能な避難場所、避難所の早期の情報提供。
 - 2) 安全に避難できる避難場所の確保、増設。
 - 3) 避難行動支援、広域避難場所の確保、企業等との事前の避難契約。
 - 4) 要介護支援者、ペットの受入れの受入れ体制確立。
5. 地区防災計画の策定（計 5 件）
 - 1) タイムラインの設定、防災避難活動訓練の実施。
 - 2) 自治会への指導
6. 防災出前講座（計 6 件）
 - 1) 自治会の防災、避難行動計画の立案指導。
7. 今回の不手際の再発防止（計 13 件）
 - 1) 避難場所の受け入れ態勢の完備。
8. その他（計 13 件）

以 上